

# HIDEYO SALON

お待たせしました。

サロン・コンサート No.21 のご案内です。

今回は、太陽の港街 “Napoli (ナポリ)” をご紹介しましょう。

美しい自然環境と温暖な気候に惹かれて古代ギリシャ人がやって来たのは紀元前 7 世紀。ナポリの名称は、ギリシャ語の新都市(Neapolis)が語源です。紀元前 4 世紀には古代ローマの支配下におかれアウグストゥスやネロ皇帝のお気に入り避寒地になりました。その後の、たび重なる外国支配によるさまざまな人々との交流は、ナポリの芸術文化に独特的な魅力をもたらしました。

ゲストに、ギタリストの増井一友さんをを迎えます。内外のコンクールで入賞、ナポリから来日したミュージカル・グループと全国ツアーに参加、NHK朝の連続ドラマ「てるてる家族」にてギター演奏を担当するなど、とっても素敵なプロフィールの持主です。当日は F.タルレガの名曲「アルハンブラ宮殿の思い出」も、私のたっての願いに答えてソロ演奏して下さいます。

ピアニストは、関西を中心に活躍しておられる正田歩さんです。

今回は、港街ナポリを舞台にした作品、そしてナポリ民謡をたっぷりお届けします。ジョヴァンニ・バッティスタ・ペルゴレージ (1710-1736) は、ナポリ音楽院を卒業。余談ですが、私のイタリアでのオペラデビューは、彼が音楽院卒業作品として書いた『グリエルモ・ディ・アキタニア(1731)』の聖ベルナルド役でした。1733 年作曲の『奥様女中』は歴史的大ヒット、コミカルで躍動感溢れるセルピーナのアリアを、皆様にお届けします。

ナポリといえばピッツアの本場。「ピッツア・マルゲリータ」はマルゲリータ王女に献上されたイタリア国旗をイメージしたピッツア。バジリコの緑、モツアレッラ・チーズの白、トマトの赤です。初夏の夕べ、サンタルチア海岸から湾をへだててヴェスヴィオ火山を眺める最高のロケーションを想像しながら、冷たい白ワインを片手にマルゲリータ王女に乾杯しましょう。どうぞ、お楽しみに!!

---

2007 年 03 月 30 日 南雲英代

\* L.S.N.会員の皆様がお誘い下さいました方々も、割引チケットをお求めいただけます。

\*チケットは、先着 180 名様です。なるべくお早めにお求め下さいね。